



2025年3月26日

株式会社アドバンスト・メディア

音声認識 API「AmiVoice® API」に End to End 採用の次世代音声認識エンジン搭載で、認識精度が向上 ～複数言語を認識できる多言語対応エンジンも追加～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、開発者向けボイステックプラットフォーム「AmiVoice Cloud Platform（アミボイス クラウド プラットフォーム）」にて提供している、国内シェア No.1[※]の AI 音声認識 AmiVoice を活用した音声認識 API「AmiVoice API（アミボイス エーピーアイ）」に、End to End を採用した次世代音声認識エンジンを搭載し、3月26日（水）よりリリースします。



AmiVoice® Cloud Platform

日本語
こんにちは

中国語
你好

多言語
你好
HELLO

汎用エンジン3種がEnd to Endに対応

※ハイブリッド型の汎用エンジン、各領域特化エンジン(医療、金融、保険など)も引き続きご利用いただけます。

この度、当社ユーザーによる日本語版の End to End を採用した次世代音声認識エンジンのトライアル利用において、従来のエンジンを上回る音声認識精度が高く評価され、「AmiVoice API」への正式搭載が決定しました。さらに、複数言語の話者がいる会議において、それぞれの言語を正確に音声認識しテキスト化を行いたいという要望を受け、次世代音声認識エンジンを活用した多言語対応エンジンの提供も同時に開始します。

「AmiVoice API」に新たに搭載する End to End を採用した次世代音声認識エンジンは、日本語・中国語・多言語（日・英・中を単一エンジンで認識）の3つの汎用向け音声認識エンジンに対応し、それぞれリアルタイム認識・バッチ認識（音声ファイル認識）でご利用いただけます。

多言語対応エンジンは、言語ごとの音声認識エンジンの切り替えが不要で、日本語・英語・中国語の3つの言語を単一エンジンで認識し、それぞれ適切な言語でテキスト化することが可能です。これにより、国際会議など複数言語の話者が参加する会議においても、スムーズな音声認識を実現します。

End-to-End は、音声認識エンジンの仕組みの一種です。「言語モデル」「音響モデル」「発音辞書」を活用して音声認識をする従来のハイブリッド型エンジンと比較すると、単一のニューラルネットワークで音声認識を行うシンプルな構造です。AI が最適な手法を選定し、一貫して End-to-End モデル内で音声認識を行うため、認識精度の向上や処理速度の高速化が期待されています。

今後は、「AmiVoice Cloud Platform」にて提供している音声認識 API サービス「AmiVoice API Private」と音声認識開発キット「AmiVoice SDK」も、End to End を採用した次世代エンジンに対応していく予定です。

アドバンスド・メディアでは、引き続き音声認識技術の進化を追求し、さまざまな業界・用途でご利用いただける音声認識エンジンの開発・提供をまいります。

■ End to End を採用した次世代音声認識エンジン特長

1. 従来型を上回る高い認識精度を実現！日本語・中国語・多言語（日英中）の3つのエンジンを提供

End-to-End を採用した次世代音声認識エンジンの搭載により、従来のハイブリッド型エンジンを上回る高い音声認識精度を実現。日本語・中国語・多言語（日・英・中を単一エンジンで認識）の3つの汎用向け音声認識エンジンに対応し、それぞれリアルタイム認識・バッチ認識（音声ファイル認識）でご利用いただけます。

【End to End を採用した次世代音声認識エンジンに対応のエンジン一覧】

エンジン	認識方法	内容
日本語_汎用	リアルタイム	会議、コールセンターなどの通話、取材、放送、スピーチなど、会話の文字起こしに適したエンジンです。
	バッチ	
中国語_汎用 (簡体字、中国本土)	リアルタイム	中国語の文字起こしや音声入力に適した音声認識エンジン。
	バッチ	
多言語対応 (日・中・英)	リアルタイム	日本語・中国語・英語の3つの言語を単一エンジンで認識。話者の言語を音声認識し適切な言語にテキスト化。
	バッチ	

2. 多言語対応エンジンにより、複数言語の話者がいる会議にも対応

言語ごとの音声認識エンジンの切り替えが不要で、日本語・英語・中国語の3つの言語を単一エンジンで認識し、それぞれ適切な言語でテキスト化することが可能です。国際会議や多言語環境での利用に最適です。

■ 音声認識 API 「AmiVoice API」

「AmiVoice API」は、国内シェア No.1[※]の AI 音声認識 AmiVoice を展開するアドバンスド・メディアが、「AmiVoice Cloud Platform（音声関連技術を提供する開発者向けボイステックプラットフォーム）」で提供している AI 音声認識 API サービスです。API 連携したシステムに、発話のテキスト化といった音声認識機能が実装できます。高い認識率を活かしたリアルタイムでの書き起こしや、単語登録による固有

名詞・社内用語の認識、「えっと」「そのー」「あのー」などの言い淀み（フィラー）の自動削除など多数の機能を備えています。



AmiVoice® Cloud Platform

開発者向け

シェアNO.1の音声認識エンジンを
API・SDKで提供する

API SDK コントラクトセンター向け

AmiVoice Cloud Platform	
Web	https://acp.amivoice.com/

※ 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2024」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

- 代 表 者** : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
- 本 社** : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F
- U R L** : <https://www.advanced-media.co.jp/>
- 設 立** : 1997年12月
- 資 本 金** : 69億3031万円 (18,392,724株) (2024年12月末現在)
- 事 業 内 容** :
◆企業および企業内のユーザーや一般消費者へ AI 音声認識アミボイスをサービス利用の形で提供する「サービス事業」
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専業の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：ecarlate「音声認識市場動向 2024」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客さま
経営推進本部 広報グループ ・ E-mail : press@advanced-media.co.jp ・ TEL : 03-5958-1307	PF D&O 部 ・ E-mail : info@advanced-media.co.jp